

Kishida Riusei: A Retrospective



《麗子肖像(麗子五歳之像)》1918年10月8日 東京国立近代美術館 [通期展示]

この世の宝なるものを目指し

没後90年記念

劉
金
生

展

岸
田

2019 8/31 SAT
→ 10/20 SUN

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



開館時間=10時~18時(金曜日は20時まで 入館は閉館の30分前まで)

休館日=月曜日(9月16日、9月23日、10月14日は開館)、9月17日[火]、9月24日[火]

入館料=一般1,100(900)円/高校・大学生900(700)円/中学生以下無料

※()内は前売料金[6/29~8/30販売] ※20名以上の団体は、一般800円、高校・大学生600円

※障がい者手帳等持参の方は100円引き(介添者1名は無料)

主催=東京ステーションギャラリー[公益財団法人東日本鉄道文化財団]、東京新聞

協賛=大日本印刷、トヨタ自動車 特別協力=東京国立近代美術館

※会期中、一部展示替えがあります

大正期の絵画展を積極的に開催してきた
東京ステーションギャラリーが満を持してお送りする、
日本近代絵画史上欠かせない「天才」「非凡人」画家の
大回顧展です。

画家・岸田劉生(1891-1929)は、日本の近代美術の歴史において最も独創的な絵画の道歩んだ孤高の存在です。明治にはじまるその歴史は、フランスの近代美術の追従であったとされます。しかし、岸田劉生はただひとり、初期から晩年に至るまで、自己の価値判断によって、自己の歩む道を選択し、自己の絵画を展開しました。そんな劉生の作品や姿勢、活動は、同時代の若い画家の指標ともなり、強い影響を与えました。

ひとつの到達点にきたら画風を変え、また新たな作風へと展開させ続けた岸田劉生。本展では、岸田劉生の絵画の道において、道標となる150点以上の作品を選び、基本的に制作年代順に展示することで、その変転を繰り返した人生の歩みとともに、画家・岸田劉生の芸術を顕彰しようとするものです。没後90年を迎える2019年。特別協力の東京国立近代美術館をはじめ、日本各地から名作が一堂にそろうこの機会をどうぞご堪能ください。

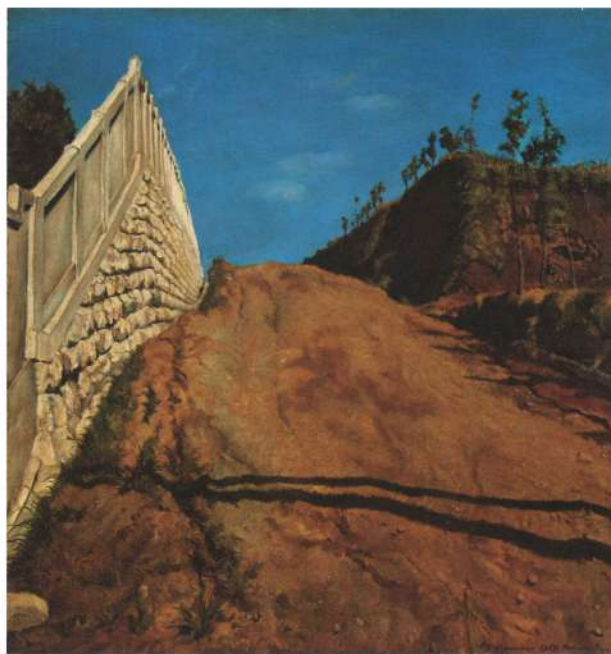
※会期中、一部展示替えがあります 前期=8月31日(土)-9月23日(月・祝)/後期=9月25日(水)-10月20日(日)



【展覧会の流れ】

- 1907-1913
第1章 「第二の誕生」まで
- ↓
- 1913-1915
第2章 「近代的傾向…離れ」から
「クラシックの感化」まで
- ↓
- 1915-1918
第3章 「実在の神秘」を超えて
- ↓
- 1919-1921
第4章 「東洋の美」への目覚め
- ↓
- 1922-1926
第5章 「卑近の美」と
「写実の欠陥」を巡って
- ↓
- 1926-1929
第6章 「新しい余の道」へ

Kishida Riusei: A Retrospective



1. 《自画像》 1921年4月27日 泉屋博古館分館
 2. 《道路と土手と塀(切通之写生)》重要文化財 1915年11月5日 東京国立近代美術館
 3. 《竹籠含春》 1923年4月9日 個人蔵
 4. 《壺の上に林檎が載っている》 1916年11月3日 東京国立近代美術館
 5. 《麗子坐像》 1919年8月23日 ポーラ美術館
- [1-5 すべて通期展示]

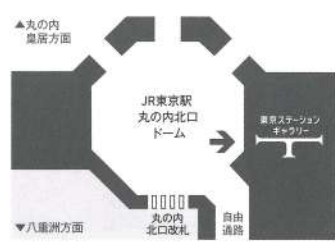
関連イベント

①②③のお申込み方法
7月27日[土]以降の開館時間中に当館まで
電話「03-3212-2485」または1階受付で
お申込みください。※定員になり次第受付は終了します。

- ① 記念講演会「岸田劉生の道」
8月31日[土] 19:00~20:30 (18:30開場)
講師: 山田 諭 (本展監修、京都市美術館学芸課長)
会場: 東京ステーションギャラリー 2階展示室 / 定員: 70名 (要事前申込)
参加無料 ※閉館後の実施のため展覧会とは観覧できません。
- ② 記念ツアー「#岸田劉生の場所いってみた」
講師: 山内崇嗣 (アーティスト) ※詳細は7月中旬に当館HPに掲載します。
- ③ 朝の鑑賞会 [学芸員による開館前のギャラリートーク]
9月21日[土]、9月29日[日] 9:30~(約30分) / 1階エントランス集合
定員: 各回25名 (要事前申込) / 参加無料 (要別途入館料)
- ④ レンガ・タッチ&トーク [レンガが特徴的な当館のたても解説]
9月4日[水]、9月25日[水] 15:00~(約40分) / 1階エントランス集合
定員: 各回15名 (当日1階受付でお申し込みください) / 参加無料 (要別途入館料)

日比谷カレッジにて、本展担当学芸員による記念講座を予定しています。
※詳細は決まり次第、右記HPにて公開します。 <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/infoevents/hibiyacollege/>

EDO TOKYO NIPPON アートフェス2019
9月21日[土]~23日[月・祝]の3日間、無料バスが当館と東京駅周辺美術館(出光美術館、三井記念美術館、三菱一号館美術館)の間を回遊するほか、イベントを開催します。
※詳細は当館HPなどでお知らせします。



東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1
Tel. 03-3212-2485 <http://www.ejrcf.or.jp/gallery/>
交通: JR 東京駅 丸の内北口改札前

【今後の予定】
没後100年 辰野金吾と美術のはなし
2019年11月2日[土]~24日[日]
坂田一男(仮)
2019年12月7日[土]~2020年1月26日[日]

[リピーター割引] 本展の当日券か前売券の半券を受付にご提示いただくと、団体料金の金額で入館できます。ご提示いただいた半券は回収します。他の割引との併用はできません。
[前売券] 入館料の200円引。ローソクチケット(Lコード=31628)、イープラス、CNプレイガイド、セブンチケットで6/29~8/30販売。当館受付での販売は6/29~8/18の開館日に限ります。